

平成30年度 船員安全・労働環境取組大賞・特別賞

受賞者一覧

船員安全・労働環境取組大賞

部門	取組の名称	概要及び選定理由	申請者
安全 運航	止めるなPDCA！ 安全文化の形成に向けた年輪育成プロジェクト！	<p>船内での火災発生時に、迅速・適確に対応するため、消火プランを策定し、原案の作成→訓練の実施→課題の抽出及び検証→問題点の改善等の一連のプロセスによるPDCAを発展、継続して実施し、装備・設備・排煙方法等にいたるまで、徹底的に改善を行った。</p> <p>また、消火プランを全乗組員に浸透させるべく、経験に関係なく確実に初動対応を行えるよう、フローチャートを視覚化する等の工夫を行った。</p> <p>さらに、機関室における消火プランも検討するなど、PDCAサイクルの改善は現在も継続しており、こうした取組を通して、乗組員の防火に関する技術・知見のレベルアップを図ることで、会社全体の安全文化の形成につながっている。</p> <p>このように、徹底、継続した改善への取組が特に評価された。</p>	宮崎カーフェリー 株式会社 (宮崎県宮崎市)

船員安全・労働環境取組特別賞

部門	取組の名称	概要及び選定理由	申請者
労働 支援	UAV（ドローン） による空撮により、 航路確認や測量を実施（労働支援対策）	<p>作業船にUAV（ドローン）を常備し、初めて施工する現場付近の海域を空撮し、施工箇所付近の浅瀬や障害物の確認を行った上で航行経路を検討することにより、船舶の安全運航に役立てている。</p> <p>また、転落の危険性を伴う消波ブロック上での据付後の測定にもドローンを活用し、船員労働の省力化とともに、作業の安全性向上を図っている。</p> <p>このように、ドローンを活用するという先進性が特に評価された。</p>	株式会社菅原組 (北海道函館市)